

【会議の概要】

会 議 名：平成 30 年度第 2 回加古川市障害者自立支援協議会
 日 時：平成 30 年 11 月 26 日（月）15 時 00 分から 16 時 30 分まで
 場 所：加古川市民会館 小ホール
 議 題：（１）くらし専門部会からの報告
 （２）しごと専門部会からの報告
 （３）加古川養護学校の現状について
 出 席 者：委員 21 名、市（事務局）8 名
 ※委員 3 名は所用のため欠席
 公開・非公開の別：公開（傍聴者：1 名）
 配布資料：別紙 NO. 1 次第
 別紙 NO. 2 加古川市障害者自立支援協議会 委員名簿
 別紙 NO. 3 くらし専門部会活動報告
 別紙 NO. 4 しごと専門部会活動報告
 別紙 NO. 5 加古川市立加古川養護学校の教育

【協議の概要】

- （１）くらし専門部会活動報告
 地域生活支援拠点等の整備に向けた検討状況を中心に部会長より報告いただいた。また、2 月に実施予定の防災訓練についての周知があった。
- （２）しごと専門部会活動報告
 J A との連携による福祉就労に向けた取組み内容や、市内事業所との意見交換会の様子について部会長より報告いただいた。
- （３）加古川市立加古川養護学校の教育
 加古川養護学校の紹介や、福祉避難所としての役割や現状の課題について情報共有いただいた。
 また、保護者に対して実施した防災アンケートの結果の報告を通して、保護者側が感じている生の声をお聞かせいただいた。

以 上

司会：事務局 議長：会長

1 開 会

《事務局より配付資料及び出席者の確認》

2 議事

（１）くらし専門部会からの報告

部会長より資料に沿って報告。以下、意見交換の内容。

[委員]

自分自身が重度の子どもの親であり、短期入所の利用率の問題は身に染みて感じています。また、当事者の利用が進まないのは大きな課題であることも認識しています。普段と違う環境に慣れるために、とにかく利用回数を増やすことで緊急時に安心して利用できるのを、育成会でも利用していきましょと意識改革のための声かけをしているところです。とは言っても、重度の方は環境の変化に対応するこ

とは簡単ではなく、子どもにとっても親にとっても普段の生活が続ける方が穏やかに過ごせるため、短期入所のハードルはどうしても高くなります。利用するにしても事前にしっかり予定を組んでから、というのが現状です。必要にせまられなければなかなか使えません。

報告の中であった「お守り代わりに短期入所の支給決定を受けている」というお話はその通りだと思います。お守りではなく、実行に移していかなければいけません。ただ、短期入所は枠が少なく、利用者側が枠に合わせて利用しなければならない現状もあります。現在、市内の短期入所の事業所は4つですが、これからもっと必要になると思います。

また、数だけでなく、事業所の立地も各エリアに点在してあればいいのではないのでしょうか。例えば、グループホームがもっと増えて、その一室が短期入所として利用できるなどです。利用するためのハードルをなくし、垣根を低くすれば、利用しやすくなるはずです。自宅近くの事業所で体験利用ができるという形が良いでしょう。利用者の気持ちやニーズをわかっていただき、制度に合わせた福祉ではなく、利用者に合わせた福祉になってほしいと願っています。

[委員]

資料13ページの防災訓練について、30名15組で実施とのお話がありましたが、加古川市身体障害者福祉協会の会員に今から声かけをした方がよいのでしょうか。

[委員]

今回の訓練は、避難時に支援が必要な方や避難に時間がかかる方を対象に企画しています。企画への参加呼びかけは、加古川市身体障害者福祉協会、ライフガーデン利用者、肢体不自由児（者）父母の会、遷延性意識障害の会などに行いたいと思っています。ただ、この訓練の企画を提案してくださった防災士の方からは、階段を使った移動のため、危険を伴う場面があると聞いておりますので、人数に制限を設けさせていただいております。防災訓練は良い機会でもあるので、参加を希望される方も多数おられると思いますが、部会事務局とも相談し、各団体に定員を設けさせていただくことになるかと思います。

[会長]

制度の形は整ってきていますが、次の段階として、利用者さんの要望を受け入れられないものなのでしょうか。

[委員]

事業所ごとに受け入れている方の障害特性に偏りがあるため、利用者側の目的やニーズは、入所を見据えた短期入所、1人暮らしの疲れを癒すための短期入所など多種多様です。

[会長]

利用定員の拡大や、便利な場所で利用したいなどの希望は吸い上げできているのでしょうか。

[委員]

本人から直接の吸い上げではなく、身近な相談員や事業所職員、家族の方が聞いているということはあります。ただ、実際には、緊急時の利用を断られたという事案もあると聞いているので、どうするか具体的に検討しなければならないと感じています。

[会長]

緊急時に受け入れ可能であり、使いやすいことが必要かつ重要でしょう。「緊急時に受け入れてほしい」「緊急時に受け入れられない」という相反する状況を見つめることは、現状を打破する原動力になるかと思います。

[委員]

使いやすい形はひとそれぞれであり、一番良いのは身近に利用の機会があるということだと思います。例えば、日中活動の事業所に短期入所があるなどです。活動の後にお泊りができるという流れは本人にとっても自然と受け入れやすいでしょう。計画を詰め詰めに立てた中での短期入所の利用は、子どもの精神面で心配があります。なんとか利用しやすくなればと思います。

[委員]

拠点整備を進めていくにあたって、国からは、親の高齢化や障害の重度化が進行していると示されており、加古川市としてその課題にどうやって対応するか考えていかなければならないと思います。また、住み慣れた場所で支援が続いていくのが一番良いので、地域全体で見守りが出来ればよいでしょう。現状、短期入所の利用が進んでいないのはどのような背景があるのかを考えたとき、「事業所に行くまでの足がない」「契約が難しくサポートが必要である」など様々な要因が考えられます。今後、相談支援専門部会の中でも、支給決定と実際の利用率の差について、どうしてなのかという現状を確認していければと思っています。そして、そこでわかった課題を一つずつ精査し、進めていければと思っています。今後、各ワーキングを月1回ペースで実施する予定であり、ワーキングの中で全て解決して推し進めていくのは難しいかもしれませんが、様々な立場の方の意見を集約して課題解決に活かしていきたいです。

(2) しごと専門部会からの報告

部会長より資料に沿って報告。以下、意見交換の内容。

[会長]

就労に参加する側の目的はどのようなものがあるのでしょうか。例えば、生きがい、工賃のためなどでしょうか。また、受け入れる側も、工賃の実績を上げたいという思惑があるのでしょうか。実際、それぞれの能力で仕事ぶりに差があるので、日数やシフトの操作など行われているのでしょうか。

[委員]

事業所ごとに考え方は違います。確かに、よく働いてくれる方をあてにしている事業所はあると思います。そのような状況があるので、福祉就労の次のステップに進みづらいというケースはあります。また、長く働く中で少しずつ歳を重ねることですんどくなれる方もいらっしゃいます。そのような方の次の場所も必要だという意見も出ています。

[委員]

現在支援を行っている方の中で、就労につながりそうな方はいますか。また、そのような方の今後の計画やゴールはあるのでしょうか。

[委員]

部会の中でもまだケース検討という段階まで進んでいないのが現状です。また、先日の事業所意見交換会においても、就労支援の中でのことを情報共有することが主であり、一般就労につながりそうな方

がいるという具体的な事例は出ていません。

（３）加古川養護学校の現状について

資料に沿って情報共有。以下、意見交換の内容。

〔委員〕

医療的ケアが必要な児童が約半数であり、さらに放課後等デイサービス利用者が全校生徒のおよそ100%ということでしたが、市内に医療的ケアに対応可能な事業所はそれほどなかったように思います。

また、送迎に関しても、保護者の送迎が前提となっているように感じます。そのような現状で、例えば保護者の方が体調を崩されたりなどした場合は、どのように対処するのでしょうか。養護学校が市の施設でもあるという点でも、どのようにお考えでしょうか。さらに、通学に限らず移動という課題に対して、良い解決策があればお聞かせください。

〔委員〕

学校の現状としては、小児医療に関わったことのある看護師は少ないようです。

また、全ての看護師が気管切開をしている子どものカニューレの脱着ができる訳ではないので、医療的ケアが必要な子に対して、単に看護師を配備すればよいというわけではなく、難しい問題です。医師か家族しかできない医療行為もあるので、そのあたりを整理したうえで看護師の配備について考えていかなければならないでしょう。医療的ケアや看護師の配備について詳しい方に意見をいただきたいのですがいかがでしょうか。

〔事務局〕

市内には現在、医療的ケアに対応可能な事業所が5つあります。市としては、医療的ケアのハード整備ということで、平成30年度から医療的ケアサービス提供事業所に対する補助事業を実施しております。1件の実績があり、先ほど申し上げた5事業所のうちの一つです。通学時の移動に関する制度については、現在は障害福祉サービスとして提供できていないですが、現在検討を進めているところです。

4 その他

5 閉会

以 上